

上池如夫議員
大豊小学校プールの漏水と付属施設の改修予算は。

吉松教育長
82万7千円である。シャワー室は別に計上している。

上池如夫議員
大豊小学校プールの改修については、6、7年



老朽化が著しい大豊小学校プール

前から教育委員会には何度も要望をしていたが、莫大な工事費になるということで我慢してきた経緯がある。90万円程度で改修できるのであれば、もう少し早く対応できたのではないかと。

吉松教育長
大変なご迷惑をおかけしたことはお詫びする。部分改修で対応できるの

吉松教育長

か、また改修方法など検討することが多くあり、対応が遅くなった。

西村正尚議員
災害で通行止めになっている町道谷相線の復旧は。

宮内産業建設課長

当初、町道は町、横にある場合は国の四国山地砂防事務所が整備するということが調査をしていたが、谷と町道を一体的に整備する必要があり、町道も四国山地砂防が整備することになったので、現在国の方で地質調査等を行っている。

小笠原春行議員

式岩地区で水がなく不便を強いられている世帯が4、5軒あるが、水道設備の設置は。

宮内産業建設課長

現在ある簡易水道施設から導水することを計画しているが、費用が3、4千万円かかるため、国や県の事業でできないか

検討を進めている。

○平成22年度大豊町一般会計予算

小笠原春行議員

町有林間伐事業業務委託料の内容は。

佐々木総務課長

間伐事業を委託するもので、協働の森事業として西峰丸荒と力毛荒の収入間伐を、また、カーボンオフセット事業として庵谷の梶ヶ鳩での切り捨て間伐を予定している。

小笠原春行議員

生活路線バス運行対策費補助金が70万円に増えている理由は。

佐々木総務課長

県交通の県庁前田井線と大杉駅田井線に対して補助金を支出しているが、起点から終点までの乗車密度が3人を下回ると国の補助金の交付がなくなり、町からの補助が増加するためである。

小笠原春行議員

乗合タクシー制度は効果が上がっているか。高齢化した中で交通手段の確保は重要な課題だが、町長の考えは。

岩崎町長

乗合タクシー制度、通院タクシー制度、障害者持つ方へのタクシーチケット制度などで交通手段の確保に努めている。住民の皆さんの意見を聞きながら、今後も取り組む。

前田邦明議員

国道32号沿いの杉駐在所の前に横断歩道があるが、最近相次いで交通事故が起こり、信号機を設置してはどうかとの声があった。既に町長の耳にも入っており本山署へも要望していただいていると聞いたが、その後どういった結果になっているか。

岩崎町長

大杉地区の住民から話があり、早速本山警察署に相談した。信号機につ

いては区間や道路状況などの基準があり、こうした点を検討していただいている。

岡本淳議員

特別養護老人ホーム、グループホームなどの待機状況は。

都築住民課長

大豊園の待機者が17人、認知症のグループホームの待機者が4人いる。

岡本淳議員

空き校舎の有効活用や就業場所の確保ということで、高齢者福祉施設の設置や県が進めている小規模多機能型施設の設置は考えていないか。

岩崎町長

嶺北管内の病院、福祉施設関係者及び行政が集まり、今後嶺北地域でどういった介護施設、医療施設を整備する必要があるか協議している。小規模多機能型介護施設については、大豊町社会福祉

協議会が対応している。

重森一宗議員

高齢者に対するサービスとして、町長が一番良いと考える施策は。

岩崎町長

住み慣れた場所で、安心・安全に暮らせることが一番と考える。

重森一宗議員

各地域の拠点に高齢者住宅を整備するという検討はしていないか。

岩崎町長

ミニサービスのように地域で皆さんが集まって元気に暮らせるような取組は現在も行っている。高齢者住宅について具体的な検討はしていないが、空き施設を利用した施設については、今後検討しなければいけない。

都築正光議員

校舎等解体工事費は大豊中学校校舎の解体工事費だと考えるが、例えば



現在の農協ユズ加工施設（黒石）

昨年の12月議会で大豊中学校を廃校にし校舎を普通財産にして、3月議会でユズの加工施設設置に対する補助金の予算案を提出するのなら理解できるが、校舎取り壊しとユズ加工施設補助金を段階を踏まずに一括で進めることについて、町長はどう考えているか。

岩崎町長

ユズ加工施設の建設は非常に重要な計画であり慎重な取組が必要だ。議会に説明した後、地元の皆さんとも協議した。国の事業を導入することもあり、今回の提案となった。

都築正光議員

町内のユズ生産者は大

体70歳くらいが主体で平均年齢が高いと思うが、5年、10年後もこの計画でいけるのか。また県内でユズ酢の在庫もあり、ユズ玉の価格も計画どおり上がるか不明である。莫大な投資をして3年や5年で行き詰まる計画ではないかと思うが、町長の考えは。

岩崎町長

現在のユズの生産状況や出荷状況を考え、地域の産業を維持し発展させる取組は必要である。ユズの加工率を上げること全体の収益が増加し、生産者がより積極的に取り組めるような環境をつくっていく。

都築正光議員

現状維持する程度の生産でいけば価格も安定するが、生産が増えても需要が伸びなければ価格は下がる。生産量が増えるなら、やはり販路の拡大にも取り組む必要があるが、町長の考えは。

岩崎町長

第一次産業を中心とした加工・流通を進める上で、中学校跡地に碁石茶や生薬などの農産物を一体的に加工できる施設を整備できないか検討している。また計画を示せる段階には至っていない。

小笠原春行議員

議会が議決していないのに、校舎の取壊し費用を計上するのは議会

軽視ではないか。

岩崎町長

事業主体である農協が取り組むが、町としてはユズのPRといった面でこれを支援していく。

都築正光議員

大豊中学校を解体しなくても、ゲートボール場、社会福祉協議会の駐車場などを合わせた約3千㎡あり加工施設を設置できる。中学校の跡地となると交通量も多く、途中に踏切もあり危険であるが、なぜ中学校を使うのか。

岩崎町長

第一次産業を中心とした加工・流通を進める上で、中学校跡地に碁石茶や生薬などの農産物を一体的に加工できる施設を整備できないか検討している。また計画を示せる段階には至っていない。

小笠原春行議員

議会が議決していないのに、校舎の取壊し費用を計上するのは議会

では区間や道路状況などの基準があり、こうした点を検討していただいている。

岡本淳議員

特別養護老人ホーム、グループホームなどの待機状況は。

都築住民課長

大豊園の待機者が17人、認知症のグループホームの待機者が4人いる。

岡本淳議員

空き校舎の有効活用や就業場所の確保ということで、高齢者福祉施設の設置や県が進めている小規模多機能型施設の設置は考えていないか。

岩崎町長

嶺北管内の病院、福祉施設関係者及び行政が集まり、今後嶺北地域でどういった介護施設、医療施設を整備する必要があるか協議している。小規模多機能型介護施設については、大豊町社会福祉

軽視ではないか。

岩崎町長

議会を軽視しているのではなく、事業の実施により必要となってくる問題がたくさんあるので、同時に提案した。

都築正光議員

加工施設への出資金は大豊町が1億1、900万円と突出しているが、本山町、土佐町と平等な負担にならないか。

岩崎町長

生産量などを考慮して3町と農協が協議し決定した負担金である。

上池如夫議員

今回の計画はユズ搾汁施設だが、例えば碁石茶のペットボトル生産等もできる複合施設など、農協と協議しているか。

岩崎町長

具体的な計画にはなっていないが、この計画画地の中に一体的に整備すれば効率よく生産でき